

トップ

地域

社会

経済

政治

スポーツ

くらし文化

オピニオン

全国・海外

記事を検索



東川のごみ袋 コメ由来のバイオプラ配合 道内初

山中悠介 会員限定記事

2024年4月1日 23:09

あとで読む



コメ由来のバイオマスプラスチックを使った東川町の新しいごみ袋（手前）と従来のごみ袋（奥）



【東川】上川管内東川町は1日、町指定の有料ごみ袋にコメ由来のバイオマスプラスチック「ライスレジン」を配合した商品を導入した。町によると、道内初の試みで、特産のコメの新たな活用策の一つとして、農業振興に生かしたい考えた。

ライスレジンは、「バイオマスレジンホールディングス」（HD、東京）が開発。通常のプラスチックよりも石油の使用量を抑えられるため、環境に優しいプラスチックとして注目されている。

同町のごみ袋には、町内の農家2軒の圃場（ほじょう）（4ヘクタール）で昨年、試験栽培した非食用米「資源米」から作ったライスレジンを12.5%程度配合した。

町によると、袋の容量を従来の5種類から、10リットル、20リットル、40リットルの3種類に絞ることで経費削減を図り、従来品と同じ価格に抑えたという。担当者は「水田面積維持と環境に配慮する意識づくりのきっかけになれば」と話した。

わたしのニュース

好きな市町村やテーマのタグをフォローすると、最新記事が表示されます。フォローは[こちら](#)から。

PR

「備えて、どんなもの？」こくみん共済coopが教える 災害に

今週の求人情報はこちらから！やりたい仕事が見つかる！

最短1時間で企業からスカウトが届く！地域に特化した求人マッチ

札幌のコワーキングならDRIVE！大通駅近！会議やイベント利用も

アクセスランキング >

4月2日 1:09 更新

1 あおやま内科が破産 負債5千万円 帯広

2 「ニセコの雪最高」「スキー場も街並みも変化」 バーで漏れる外国人の本音 夜のひらフルポ

3 「冬の音楽フェス新鮮」 札幌ドーム新モード、初のプロ利用 “縮小”会場2万人興奮